

本市における竹の有効活用・資源化について



印南 典子 議員

**質問**…今でこそ竹公害などと不名誉な呼ばれ方をされている竹ですが、竹には様々な優れた特性があります。耐摩耗性・断熱性能・抗菌抗酸化効果・ガス吸着分解性能・消臭効果・抗菌防カビ性・害虫忌避効果・抗ウイルス効果などがあります。この性質を生かし、竹を使い6次産業を興し、その拠点を廃校跡地や未利用施設を利用して集約で

きれば新たな産業が生まれ、若者雇用も発生し、竹公害問題も解決します。本市には人間国宝の竹工芸家の先生も住まわられているので、国内外から関心のある方々が集まってくれば移住定住促進、観光にも一役買ってくれるのではないのでしょうか。仮にこれを、かぐや姫プロジェクトと名付けました。本市の竹の有効利用・資源化の今後の取り

組みについて伺います。  
**答弁**…かぐや姫プロジェクト。大変素晴らしい提案だと関心をしています。本市においては、現時点では具体的な竹の有効活用・資源化に対する取り組みは行っていないです。しかしながら、本市が進めているバイオマス産業都市構想においても取り組みの素材か、今後積極的に研究していきたいです。

一般質問



秋山 幸子 議員

本市の鳥獣被害対策について

**質問**…大田原市では、県立黒羽高校の皆さんに、鳥獣被害対策実施隊の出前講座などで、野生鳥獣の習性に興味を持ってもらうきっかけを作り、人を育てる観点から「鳥獣管理学科」や「野生鳥獣保護管理学科」、「生物多様性学科」など、特色を持った高校として、近隣の若者や子育て世代に関心を持っていただく対策は如何か。教育長から県に

働きかけていただきたい。  
**答弁**…県行政ですの。  
**質問**…学校がなくなったら、その地域が疲弊することは目に見えている。「すべては子どもたちの未来のため」に通じるところなので、市長はどのようにお考えでしょうか。  
**答弁**…教育長が、県の所管と行うことでありますけれど、大田原市としては、黒羽高校は是が

非でも残したい学校の一つでありますし、森林資源が豊富、秋山議員からご指摘があった鳥獣被害などもあります。そのようなことに対応できる人材を育成していく、子どもたちをそういった道に進ませるのも、可能性としては高いのではないかと。そのようなことから、今後私のほうも検討、調査していきたいと思えます。